

**2007年 3月改訂（第3版、薬局方改正に基づく改訂）

*2006年 3月改訂（第2版）

貯 法：遮光した気密容器

使用期限：3年（容器に記載してある。）

日本標準商品分類番号

8 7 2 6 1 9

* 承認番号	13800AZZ03737
薬価収載	1963年11月
販売開始	1963年11月
再評価結果	1983年 4月

外皮用殺菌消毒剤

0.2% - アクリノール液

**【組成・性状】

本品は100mL中「日局」アクリノール水和物0.2gを含有する黄色の液で、においはなく、収れん性の苦味がある。

【効能・効果】

化膿局所の消毒

泌尿器・産婦人科術中術後、化膿性疾患（せつ、よう、扁桃炎、副鼻腔炎、中耳炎）

口腔領域における化膿局所の消毒

【用法・用量】

化膿局所の消毒

（液剤）：0.05～0.2%の液として使用する。

含嗽：0.05～0.1%の液で含嗽する。

【使用上の注意】

1. 副作用：本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
皮膚（注1）	塗布部の疼痛、発赤、腫脹、潰瘍、壊死
過敏症（注2）	発疹等

（注1）このような症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

（注2）異常が認められた場合には使用を中止すること。

2. 適用上の注意

外用にのみ使用し、内服しないこと。

【薬効薬理】

グラム陽性・陰性菌に有効で、特に連鎖球菌、ウェルシュ菌、ぶどう球菌、淋菌に対し、静菌作用及び殺菌作用がある。作用機序は、生体でアクリジニウムイオンとなり細胞の呼吸酵素を阻害するといわれている。生体組織にほとんど刺激を与えず、血清やたんぱく質の存在下でも殺菌作用は低下しない。

【有効成分に関する理化学的知見】

黄色の結晶性の粉末で、においはなく、収れん性の苦味がある。熱湯に溶けやすく、水にやや溶けにくく、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにはほとんど溶けない。

【取扱い上の注意】

衣類に付着すると黄色に変色し、脱色しにくいので注意すること。

《配合変化》：Cl⁻イオンの共存する場合、濃度による塩酸塩の析出することがある。

【包装】

500 mL

【参考文献】

第十五改正日本薬局方解説書 2006, (広川書店)

文献請求先：純生薬品工業株式会社学術企画室

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5

TEL:03-3862-3151, 03-3862-3154

*製造販売元

純生薬品工業株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5

平成19年3月作成